

「ここは私のお墓」と、自信をもってみんなに言える そんな素敵な場所です

海洋葬 海の弔い
契約者様

佐藤さん
70代

数年前に勝浦に移住し、縁あって妙海寺と付き合いを持つようになった佐藤さん
妙海寺 海洋葬『海の弔い』の構想時から状況を見守って下さり、海の弔い1番目の契約者となって下さいました。佐藤さんには菩提寺がありますが、死後も大好きになった南房総の海と一緒にいたいという思いがずっとあったそうです。契約に至るまでの佐藤さんの思いをお聞きしたいと思います。

『海洋葬 海の弔い』に対して

どのような魅力を感じましたか？

お墓から一望できる太平洋は圧巻そのもので、南房総の海が好きな私にとってはとても心地よい空間だと感じました。

そして管理が行き届いているところも安心して任せられる点だと思います。施設が出来て間もないので、もちろん今は綺麗ですが、今後もそれを維持管理できるシステムになっているところはよく考えられているなと思いました。

次に宗教宗派不問というところです。

私には別宗派の菩提寺があるのですが、その時点で拒否されてしまうとスタート地点にも立てない状況でしたので。

※佐藤さんは、死後に神奈川にある菩提寺に納骨した上で妙海寺の光輪塔に一部を納骨、一部を散骨する事になっています。(菩提寺も了承済み)

最後に「ここが私のお墓だよ」と、友人、知人に胸を張って紹介できる素敵なものだと感じています。

『海洋葬 海の弔い』を選択した理由をお聞かせ下さい

勝浦の海は毎日見ている飽きることがありません。海を眺めながらその中で一体になっている感じがとても幸せに思えました。

また、地域の方々の温かさにも触れ、こうして勝浦の住民として過ごせる喜びを日々感じていました。

そして、勝浦を終の棲家にしようと決めた矢先、妙海寺で海洋葬の話が出てきた際は「死後も勝浦にいたことが出来る」と喜びが湧き、すぐ説明を聞きに行こうと思いました。

ご家族との話し合いではどのような意見ができましたか？

特に反対意見はませんでした。誠心誠意自分の思いを伝えたら妻も子供たちも快く賛成してくれました。

ただ、妻も子供たちも「海に散骨する」という葬送の形自体に、まだイメージが湧かないんだろうな、というところがありました。その点に関しては、海洋葬は1つの手段であり、最終的な目的は、今生きている中で納得のいく人生だったなと思えるようにする事、そしてしっかりと供養されることではないかと思っていますので、その思いも今後伝えていければと考えています。